

が じ ま る

2018年

7

ドクターインタビュー・宮城和史 副院長 外科統括部長
診療科／各部署紹介④ 診療情報管理室

中部徳洲会病院
ソフィアクリニック
徳洲会ハンビークリニック
与勝あやはしクリニック
よみたんクリニック
徳洲会新都心クリニック
おきなわ徳洲苑
グループホーム美ら徳
徳洲会伊良部島診療所
宮古島徳洲会病院
石垣島徳洲会病院

☎ (098) 932-1110
☎ (098) 923-2110
☎ (098) 926-3000
☎ (098) 983-0055
☎ (098) 958-5775
☎ (098) 860-0755
☎ (098) 931-1215
☎ (098) 931-1223
☎ (0980) 78-6661
☎ (0980) 73-1100
☎ (0980) 88-0123



Organization Accredited
by Joint Commission International



Japan Medical service Accreditation
for International Patient



Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

医療法人沖縄徳洲会 中部徳洲会病院 地域医療連携室広報
所在地 〒 901-2393

沖縄県中頭郡北中城村アワセ土地区画整理事業地内2街区1番

☎ (098) 932-1110(代) / FAX (098) 931-9595(代)

ホームページ <http://www.cyutoku.or.jp>

E-Mail daihyo@cyutoku.or.jp

宮城和史 副院長 外科統括部長

心臓疾患や脳疾患の圧倒的原因が、肥満。 病気になる前に、生活習慣の改善を！！

外科が担当する分野は、きわめて広範囲にわたっており、当院では外来で行う外科的処置を始め、入院治療を要する疾患、さらには癌など専門性の高い疾患の手術療法から化学療法まで幅広く対応しています。

さらに、対象分野も心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、消化器外科など様々な分野で高いレベルの医療を提供しています。

今日は、当院の外科を統括する宮城和史副院長 兼 外科統括部長にお話を伺いました。

— こんにちは。いきなりですが、外科というとメスで胸やお腹を切つて、体の中の悪い部分を切除して治療するというイメージなんですが、実際にはどうなのでしょう。

宮城— そうですね。もちろん、切開手術は重要な治療方法ですが、今ではどちらかというと、より低侵襲な胸腔鏡・腹腔鏡を使った『小切開手術』が大きく進歩してきています。

— 低侵襲手術ですか。



早朝カンファレンスの模様

宮城 和史 副院長（外科統括部長）

- 出身：那覇市
那覇高校 東北大学医学部（58年卒）
- 所属学会：
日本心臓リハビリテーション学会、日本透析医学会、日本血管外科学会、国際心臓血管外科、日本脈管学会、日本外科学会、日本胸部外科学会（評議員）、日本プライマリーケア学会
- 指導・専門・認定：
日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、日本胸部外科学会認定医、日本心臓血管外科専門医、日本プライマリ・ケア連合学会指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医



宮城——はい。できるだけ患者さんの身体に大きな負担を掛けたくないということで、導入がすすんでいます。

例えば、私の専門分野である心臓血管外科の分野でも、以前なら開胸で治療していた動脈瘤の切除手術などで、患者さんの身体への負担が少な

い、カテーテルを使ったステントグラフト手術という術式が大きく普及してきています。ただ、すべてのケースで対応可能ということではなくて、動脈瘤が発生した場所や形状により開胸手術を選択する場合もあります。

——治療方法も日進月歩で進んでいるんですね。

宮城——はい。手術に使用する素材の開発なども進んでいますよ。

そのため当院では、先進の医学、治療技術を県民にスピーディーに提供できるように、機器の導入だけでなく医師やスタッフの教育にも力を入れています。

その点、徳洲会グループの一員であるということは大きな優位性がありますし、また琉球大学胸部・心臓血管外科との連携も大きな力になっています。

——ご専門の心臓血管外科に関連してお伺いしたいのですが、沖縄県内での状況について、お気づきになっていることはありますか。

宮城——それはやはり肥満と、肥満による生活習慣病の多さですね。これは県民周知のことだと思いますが、『2016年度県民健康・栄養調査』によると、男女ともに肥満者割合が20代を除き全年代で全国平均を上回っています。

——沖縄県民は、全国に比べて肥満度が高い……。

宮城——肥満は身長・体重から求められるBMIという数値で表されますが、沖縄県はそのBMIの平均が全国一となっています。生活習慣の乱れから肥満となり、高血圧症、脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病を有するようになり、それを基礎疾患として心疾患、脳血管疾患が発症します。

実際に心臓血管外科でも、動脈硬化の進行による「狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患」など生活習慣病によるものが大きなウェイトを占めていますし、心臓血管疾患だけでなく脳疾患や肝臓疾患など様々な内臓疾患の原因にもなっています。

なので、私たちも外来など

で、患者さんに肥満対策に重点を置いて指導しています。

— 具体的には？

宮城 — まあ、ひとことではないと、どうやったら痩せられ

るかということなんです。

— どうすれば、痩せられるんでしょう。教えてください(笑)。

宮城 — まず、最近注目されて

いる糖質のコントロールですね。食事の内容もそうなんです。清涼飲料水の飲みすぎが糖尿病のリスクを高めることや、ペットボトル症候群と呼ばれる急性の糖尿病を引き起こしたりするので要注意です。

— ペットボトル症候群？

宮城 — これは、清涼飲料水や果実の缶詰など甘い物を大量に飲んだり食べたりして起こる糖尿病で、高血糖により

喉の渇きや全身の倦怠感などが自覚症状として現れ、さらに重症の場合は意識障害や昏睡を引き起こしてしまいます。

まあ、こうした急性の障害は別にしても、やはり肥満の原因になるのは間違いないし、しかも中年以降だけでなく子どもや若い方などの、いわゆる隠れ糖尿病の原因にもなるので、特に夏場は気を付けたほうがいいですね。

それと、びっくりするのは、沖縄ではお年寄りも炭酸飲料を飲まれる方が多いことで、これは他府県では見られない現象だと思います。

— 診察室では、どんな風に指導されているんですか。

宮城 — これは端的に、清涼飲料水に含まれている砂糖の量を具体的に写真で見せしています。そうすることで、

実感が湧いて、控えるという気になっていただけるので。

— 清涼飲料水は、控えるとして、他にはどうすればいいでしょう。

宮城 — 先ほど申し上げた、食事内容の見直しですね。肥満の原因になりやすいごはんやパン類、麺類などを控えることと、肉や魚、卵やお豆腐などたんぱく質をしっかりと摂ることが大切です。

これもただ単に口で説明するだけでなく、実際に私が担当した患者さんで、食事を変えて肥満を解消できた事例をもとに解説、指導しています。

— なぜたんぱく質をとることが大切なんでしょう。

宮城 — それは、たんぱく質が筋肉を作ってくれるからです。糖質を控えればそれは痩せはし

ますが、脂肪だけでなく身体の維持に必要な筋肉まで無くなってしまふ。健康的に痩せるためにはたんぱく質をしっかり摂る必要があります。それと筋トレですね。

— 筋トレ？

宮城 — 年を取るとどうしても筋肉量が落ちて基礎代謝が低下し、痩せにくい体になってしまいます。筋肉量を増やすことで、基礎代謝を向上させましょう。

— ウォーキングとかですか。

宮城 — ウォーキングのみでは、筋力が付きにくく痩せる効果が低いと思います。とはいえ、いきなり我流で筋トレをするのは難しいこともあり、ですので、例えば地域の公民館などには、トレーナーが常習しているジムが増えていくので、ぜひ、通ってみてください。筋トレとウォーキングを組み合わせて、太りにくい、リバウンドしない体質を目指してください。

— ありがとうございます。

←宮城和史副院長 おでかけ健康講座の様様

宮城先生の主な講演テーマ：

『生活習慣病について』、『太る・太らない生活について』、『血液をサラサラにする生活について』など。

宮城副院長への『おでかけ健康講座』の問い合わせは、

中部徳洲会病院 地域医療連携室まで

Tel：090-6858-1155（直通）

Fax：098-923-2578



中部徳洲会病院『おでかけ健康講座』に、 昨年度、15870名様が参加！

無 おでかけ健康講座 出張いたします！

料

自治会様、企業様、小中高等学校様、PTA関係様、女子会の仲間、模合の仲間など
多くのご依頼お待ちしております、お気軽にご相談下さい。

中部徳洲会病院のおでかけ健康講座は、『^{いのち}生命だけは平等だ』の基本理念のもと、地域の皆様の健康増進を目的に病気の予防や発症早期の対処法、生活習慣病の対処法、筋力低下の防止策、薬の正しい飲み方など、皆様がお知りになりたい情報をリクエストいただき、本院の医師や看護師、薬剤師など各種専門家による出張講座を開催しています。



■お申込みの流れ：



演 題：多数揃えております。お気軽にご相談下さい。

講 師：各科医師、認定看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、
理学作業療法士・言語聴覚士、管理栄養士、介護支援専門員。

※講師の派遣・日程については、できる限りご希望に沿えるよう調整
いたしますが、業務の都合により派遣できない場合もございます。
予めご了承ください。

お問い合わせ：TEL 090-6858-1155

地域医療連携室 渉外 新垣・稲福 まで

『誰でもできるじゃなく、私しかできない』 そんな仕事を、みんなで創り上げていきたい

診療情報管理室

診療情報管理室の仕事は、多岐にわたります。

中心になるのが、電子カルテ

等に、患者様の診療情報が正しく適切に記載されているかをチェックすることや、電子カルテと患者様の病歴情報システム等との間で、データの整合性をとることなど、患者様のデータが正確に維持・管理され、必要な時にすぐに活用できるように整えていくこと。そのためにはデータ管理の専門家としての知識だけでなく、関連するセクションと良好な関係を築く、コミュニケーション能力が必要となります。

さらに、こうした蓄積データを、医師等のオーダーに従って活用するためのデータ加工能力とプレゼンテーション資

料作成のセンスが要求されるなど、様々な高度なスキルが要求されます。

当院の診療情報管理室では、診療情報管理士の資格を持った6人のスタッフが勤務しています。今日は、その6人の皆さんに話を伺いました。

— こんにちは。最初に、みなさんが診療情報管理室で勤務するようになったきっかけを教えてください。

それでは、末吉副主任からお願いします。

末吉— そうですね。最初は病院で働きたいと思い、別の病院の病歴室に勤務したんです。そこで上司から、カルテを維持・管理する診療情報管

理士という資格があるよと教えていただいて、通信教育で勉強を始め、無事、資格を取ることができました。その後、2001年から、当院の診療情報管理室で勤務しています。

— 診療情報管理士として働いてみて、どう感じましたか。

末吉— 今でもそうですが、



末吉 美賀子 副主任

自分に向いている仕事だな、と思っています。

最初の頃は、電子カルテではなく紙のカルテをデータベース化するのが仕事の中心だったんですが、その頃から、分からないことがあると担当医師に教わったり、自分で調べたりするうちにだんだんわかってきて、データの向こうに患者さんの姿が見え始めてきて、とても興味深くやりがいのある仕事だと思います。

— 続いて金城副主任、話を聞かせていただけますか。

金城— 私も資格を取ったのは、他院……というか、東京の徳洲会グループ本部に勤務していたときでした。

末吉さんと同じで、上司の



研修医に診療情報
取り扱い方法を指導

勧めでした。何年か、『資格を取らない？』と勧められていたんですが、なかなか時間のやり繰りが難しく、踏み切れなかったんですね。ところが、その上司が『自分も取

データ分析スキルだけでなく、 コミュニケーションスキルが必要な仕事です。



安里 邦子 係長

診療情報管理室の仕事は、まず、カルテなどの患者様の診療情報が正しく適切に記録されているかを確認するところから始まります。

確認の結果、記載すべき情報が、正しく不足なく記録されていればいいのですが、もし不十分な項目があれば、記録を作成した部署に照会し、正しい情報に補正してもらいます。このあたりはかなりのコミュニケーション能力が必要とされますよね。

ところで、記録には電子カルテだけでなく、各種同意書などいろいろな紙の資料もあるため、こうした紙の資料を電子化する必要があり、さらに、常時、検索可能なように必要な符号を付け加えるなど、様々な手順が加わります。

なぜ、電子化して管理することが必要なのかというと、私たちの仕事が『診療録（カルテ）』か

ら『診療情報』へ、『モノの管理』から『情報の管理』へと大きく変化しているんです。

当院では、患者様の診療情報を電子化することで、必要な情報を多職種で共有できるようになっています。

私たちが扱っている診療情報は、病院の財産。情報を活用することにより、医療の質の向上や研究・教育に役立てています。

また、がん登録も大切な仕事のひとつです。『がん登録等の推進に関する法律』が2016年から施行され、国内の全ての病院及び都道府県が指定した診療所は、『全国がん登録』を行うことが義務となりました。当院でも、沖縄県に対しがん治療の情報データを提出し、国や県の施策に生かせるようにがん登録を行っています。

私たち、診療情報管理室のスタッフは、直接的な医療行為こそしませんが、医療の質の向上や患者様にスピーディーな医療の提供ができるよう、ひとりひとりが慎重かつ丁寧な仕事を、心がけていますよ。



金城 江 理子 副主任

— 管理室での仕事は、どう感じましたか。

金城 — その頃の職場は、病院ではなく、直接資格を活かすということではなかったんです。その後、7年ぐらい前に帰沖して当院で勤務し始めて、2年ぐらいたってからです。診療情報管理室に配属されて資格を活かせるようになったのは。

— 取得後、すぐに診療情報管理士として勤務を始めたんですか。

金城 — 『一緒に勉強しよう』といってくださって。通信教育と併せて、社内と一緒に勉強会などを重ねて、取得しました。

金城 — そうですね。資格取得の勉強をしている時も、取ってから、医療関係の仕事をしているとはいえ、実際の医療の現場を身近に感じることは少なかったんですが、管理室で働くようになってからは、『あの時、勉強していたのは、こういうことだったんだ』と実感できるようになりました。

— 屋田さんは、いかがですか。

屋田 — はい。私は、医事課勤務がスタートで、医事課在職中に通信教育で診療情報管理士の資格に取り組み、資格取得後、診療情報管理室に配属になりました。

— 管理室の仕事は、どう感じましたか。

屋田 — そうですね。医事課では、患者様対応やレセプト業務などをしてきました。診療情報管理室に配属後は、電子データを扱う業務が中心で、このデータがどんな風に活かされるのかと考えた時に、とても重要で責任のあ



る仕事なんだと実感しました。

— 続いて、島さん、お願いします。

島— 私は、先月まで総務課で勤務していて、診療情報管理室の仕事は学校では勉強したものの、実務としては、これからしっかりと覚えていくというところです。

— 大学で資格を取られたんですね。

島— はい。名城大学の診療情報管理専攻というコースで学んで、資格を取りました。

— なぜ、このコースを選んだんでしょうか。

島— 母が看護師で、将来は医療関係の仕事に進みたいと思っていました。

卒業後、当院で2年間、総務課で勤務していました。総務課もやりがいがあり、充実していたのですが、やはり資格を活かしたいと思い配属を希望しました。

— 管理室の仕事は、いかがですか。

島— 少ないスタッフで、大事な仕事をしているんだと感じています。やりがいを感じているところです。

— 奥平さんは、この春に入職し、研修が終わって、今月、診療情報管理室に配属されたんですね。

奥平— はい。私も、名城大学でコースを選択して、資格を取りました。

— 中徳に入職して、どんな印象を持ちましたか。

奥平— そうですね。とても横の繋がりがよくて、病院全体で連携して仕事をしているという印象を持ちました。情報管理室の業務でも、他部署の方とのコミュニケーションを丁寧にとっていると感じています。

— ありがとうございます。さて、みなさんは、業務を進めるうえで、どんなことを心がけているんでしょうか。



屋田 由香理

末吉— 私たちの大切な役割のひとつに医師からの要請に基づいて、症例研究や専門医の資格更新の論文に活用するため、データの提供することがあるんですが、その際に生データをそのまま提供するのではなくて、見やすく分かりやすく、しかも正確性を損なわないで加工する必要があります。

ルーティン業務でもそうなんです。請求者が利用しやすいカタチで提供できるように、日々、創意工夫を重ねています。

金城— 病院の蓄積された診療情報というのは、様々な指標として役立てることが出来ます。なので、誤った情報は提供しないということに常に

診療情報管理士とは

診療情報管理士とは、ライブラリーとしての診療録を高い精度で機能させ、そこに含まれるデータや情報を加工、分析、編集し活用することにより医療の安全管理、質の向上および病院の経営管理に寄与する専門職業です。米国では1932年にMedical Health Informationとして発足し、現在は登

録医療情報管理士 R.H.I.A(Registered Health Information Administrator)という称号の専門職として養成されています。その他、各国でも同職業の養成が行われています。

日本診療情報管理学会 web サイトより転載
<http://www.jhim.jp/dantai/index.html>

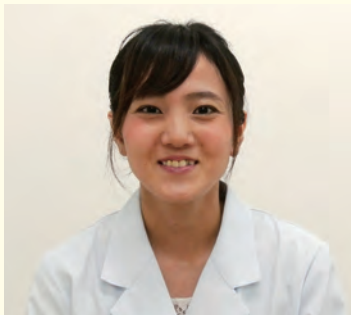
屋田― そうですね。業務をスピーディーに無駄なくすすめるためには、データの提供依頼を受けた際に、『どんな目的で、どんな情報を、どんな形で』提供するか、ひとつひとつ深く考えて仕事することも大切ですね。そうすれば、『この情報も加えて、こういう形で加工すれば、見やすくなりませんか』と、こちらから提案することもできま

気を付けています。
 後は、少しでも今の状況より良くする・働きやすくするための業務改善ですね。例えば、ルーティン化できる業務は自動化するとか。
 ただ、これはまだ思案中で、実現はもう少し先になりそうです（笑）。



島 志織

確性に欠ける情報が入力されている場合は、私たちの方か



奥 平 樹

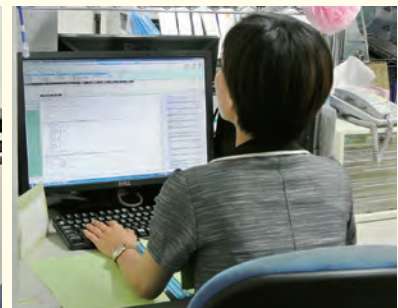
末吉― 本当にそうだと思います。
 特に、電子カルテや診療情報がちやんと活用されるためには、医師など情報を入力される方に、きちんと正確な情報を入れていただく必要があります。どうしてもあるわけじゃないですか。
 それで、もし入力漏れや正

すし。
 金城― そのためにはやはり、医師をはじめ看護師やコメディカル、事務部門との日常的な垣根を越えた交流となによりコミュニケーション能力が大切だと思います。

安里― コミュニケーションや様々な取り組みが大切だというのは、まったくその通りだと思います。私たちの仕事は、医療に関する基本的な知識に加えて、データ管理の知識や個人情報保護法などの法的知識、さらにはITに関する知識など幅広い知識と技能が要求されます。
 これからも、『誰でもできるじゃなく、私しかできない』仕事をみんなで切磋琢磨して創り上げていきたいですね。

― 最後に安里さん、皆さんの話を聞かれて、どう感じていますか。

屋田― データひとつとっても、私たちスタッフだけでなく、病院全体をどう巻き込んでいくかという姿勢が必要なんだなと実感しています。
 ら照会して注意しますが、相手は怒られていると感じてしまうこともあるので、良くするための注意なのだと伝わるようなコミュニケーション能力が重要ですね。



●『ゆんたく会』第2回 中部地区病診連携の会開催



伊波 潔 院長
中部徳洲会病院



當 銘 正 彦 院長
北中城若松病院



川 平 稔 院長
コザクリニック



向かって右上段より
座長の玉城政弘先生（たまきクリニック院長）
右中段・左 仲間直崇医師、右 平仲敦課長補佐



5月30日（水）、本院1階ホールにて、第2回中部地区病診連携の会『ゆんたく会』が開かれました。

この会は、中部地区の病診連携を発展させる目的で開催されるもので、昨年4月の第1回に続いて開催されました。この日の会は2部構成で行われ、第1部では、たまきクリニック院長の玉城政弘先生を座長にお迎えし、本院消化器内科の仲間直崇医師と本院地域連携室の平仲敦課長補佐が発表を行いました。

仲間先生の講演テーマは、「消化性潰瘍治療と酸性分泌抑制剤の進歩について ～特色あるデバイス【Clutch Cutter】によるESD治療を踏まえて」というもの。

ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）とは、内視鏡下で、ITナイフやClutch Cutterといった切除器具を使い、消化器官の内側から病変部を切除する術式で、今回は、仲間先生が施術したケースを動画や静止画を使って紹

介しながら、手術の特徴や有効性などについて解説しました。

続いて地域連携室の平仲課長補佐より、本院の病病連携・病診連携の取り組みについて紹介。平仲課長補佐の講演に先立ち、座長の玉城政弘先生から、先生の患者さんで狭心症の疑いから当院に対し緊急の検査を依頼、検査後、経皮的冠動脈形成術の実施がなされた事例が紹介され、極めてスピーディーな対応であったとご評価いただきました。

また、平仲課長補佐の講演の補足として伊波潔院長より、中部地区の医療機関同士で顔の見える関係を構築し地域の皆さんが安心して継続的に医療サービスを受受できる環境づくりのために、当院が積極的に働きかけていくことが表明されました。

さらに、沖縄県医師会 理事の比嘉靖先生（東部クリニック院長）より、『おきなわ津梁ネットワーク』を活用した患者診療情報の共有による医療サービス提供の迅速化の取り組みについての紹介と参加の呼びかけが行われました。



乾杯：濱崎直人院長
沖縄リハビリテーションセンター病院



全九州バレーボール大会総合選手権大会 17 連覇！！

第 63 回全九州バレーボール総合選手権大会が、5 月 11 日（金）から 13 日（日）の 3 日間の日程で、那覇市・浦添市・西原町の 3 会場を舞台に開催され、中部徳洲会病院バレーボールチームが、沖縄県代表として出場しました。

1 日目、1 回戦シードの当院チームは、第 2 回戦で佐賀県の三田川・相葉クラブを制しました。続いて準々決勝、対するは鹿児島徳洲会病院。当院チームは、終始、自チームのペースの試合運びでベスト 4 進出。2 日目の準決勝では、沖縄銀行を、地元西原町出身の具志堅の活躍もあり 2 対 0 のストレートでくだし、決勝に進出しました。

さて、決勝戦の相手は JOINT（西原高校 OB チーム）。1 セット目、センター川満、水野の活躍で 21 対 13 と先取すると、2 セット目も有馬、小野の両エースの安定した攻撃で 21 対 19 で取り、全 4 試合ストレート勝ちで優勝、大会 17 連覇を達成しました。今年は 9 年ぶりの地元沖縄開催で、会場には職員・職員家族、選手の家族や友人等多くの方々が応援ら駆け付け、熱い声援に勇気づけられて 17 連覇を遂げることができました。選手一同、皆様に感謝しています。本当にありがとうございました。

これからも若手選手、ベテラン選手で切磋琢磨し、さらに強いチームにしていくため頑張っていきます。



互助会総会・懇親会を開催

6 月 1 日（金）、院内にて平成 29 年度互助会総会及び平成 30 年度互助会懇親会を開催しました。懇親会では、日頃の職員の労をねぎらい互助会主催のマグロ解体ショーが行われ約 400 人の職員が参加、今年のマグロが約 150kg もあったのですが、2 時間後にはすべて完食でした。日々、業務に頑張っている職員たちは、みな笑顔にあふれ、ひと時の楽しい時間を過ごすことができました。



医療法人 沖縄徳洲会の基本理念

当院は下記の基本理念及び基本方針を遵守して、「いつでも、どこでも、だれもが安心して最善の医療を受けられる社会」をめざします。

- 生命だけは平等だ -

- ◎生命を安心して預けられる病院
- ◎健康と生活を守る病院

● 基本方針

- 年中無休・24時間オープン
- 患者さまからの贈り物は一切受けとらない
- 医療技術・診療態度の向上にたえず努力する

● 患者様の権利

- 患者様は、平等かつ安全で良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 患者様は、ご自身の病気や治療方針について、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 医師から提示された治療方針については、患者様ご自身で選択し、決定することが出来ます。
- 患者様のプライバシーは、常に保護・尊重され、配慮を求める権利があります。
- 患者様または、ご家族は当院での診断・治療方法に関してセカンドオピニオン（他の医師の診断）を受ける権利があります。
- 患者様は、診療録の開示を求め自己の健康状態について十分な情報を得る権利があります。
- 患者様およびご家族の方は、病院内での安全な環境を提供される権利があります。
- 患者様が未成年者、あるいは法的無能力者である場合は、法定代理人（法律上の権限を有する代理人）に権利があります。
- 意識のない患者様、あるいは自己の意思を表現できない患者様のインフォームドコンセントは、法定代理人に求めます。法定代理人不在時に、医療処置が緊急に必要な場合は、医療処置を拒否する意思を明確にしていない限り、患者様の承諾があったものとみなし、救命に努めます。
- 患者様は、人道的な末期医療（ターミナルケア）を受ける権利、及びできる限り尊厳と安定を保ちつつ死を迎える為にあらゆる可能な支援を受ける権利があります。
- 患者様は精神的および倫理的慰安（自分で選んだ宗教の聖職者の支援を含む）を受ける権利を有し、また拒絶する権利があります。
- 患者様は痛みを緩和する要求をする権利があります。
- 患者様は自己の病気に対する医療情報サービスに関する選択が行え、ライフスタイルや疾患の予防・早期発見の情報を得て保健教育を受ける権利を有する。
- 患者様は、患者様が理解できるコミュニケーションを取る権利があります。病院は、必要に応じ無償で外国語通訳を提供致します。

● 学会認定施設

日本医療機能評価認定施設

基幹型臨床研修病院

全日本病院協会会員病院

日本救急医学会救急科専門医指定施設

日本内科学会教育支援（関連）病院認定施設

日本循環器学会専門医研修施設

日本心血管インターベンション治療学会研修施設

日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設

日本小児科学会専門医研修関連施設

日本外科学会専門医制度修練施設

日本消化器外科学会専門医（関連）修練施設

日本脈管学会認定研修指定施設

三学会構成心臓血管外科専門医認定関連施設

日本呼吸器外科専門医（関連）施設

関連 10 学会構成腹部ステントグラフト実施施設

関連 10 学会構成胸部ステントグラフト実施施設

下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術実施施設

日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設

日本泌尿器科専門医教育施設

日本麻酔科学会麻酔科認定施設

日本整形外科学会専門医研修施設

日本手外科学会研修認定施設

日本脳神経外科学会専門医認定研修施設

日本脳神経外科学会専門医認定関連施設

日本脳卒中学会認定研修教育施設

日本臨床細胞学会認定施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本医学放射線学会専門医修練協力機関承認施設

日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設認定

全日本病院協会健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施

歯科医師臨床研修協力施設

沖縄県難病医療一般協力病院指定

協力型臨床研修病院